

令和7年度 第2回学園運営協議会（議事録）

○開催日時

令和7年6月20日（金）14:30～16:00

○開催場所

大島学園 多目的ホール

○出席者

学園運営協議会佐藤会長、福岡教育大学教職大学院坂井教授、校長、教頭、教職員全員、地域オブザーバー（浜辺ラボ 平川氏、大島村商店 林田氏、宗像経済新聞 原氏、福祉協議会 福崎氏、他）、PTA 会長、教育委員会（小島指導主事 他）

1. 開会行事

○開会挨拶（山崎教頭）

○会長職に関する報告（阿部校長）

- ・昨年度に引き続き、佐藤様が本会の会長を継続。
- ・地域コミセンでは会長職を廃止し副会長制に移行しているが、協議会では従来通りとする。

○会長挨拶（佐藤会長）

- ・会長職継続の挨拶。
- ・学園経営構想はすでに動き出している。
- ・各グループで年間計画を策定・方向性を共有することが本日の目的。

○校長挨拶（阿部校長）

- ・学校方針に沿って各種活動を開始済み。
- ・韓国・対馬の学校との交流、防災学習も実施。
- ・本年度重点目標：「豊かな表現力を育む」
- ・福岡女学院大学主催プレゼン大会で中学生が優秀賞（第2位）を受賞。

○学校関係者評価について（山崎教頭）

- ・年2回（11月・1月）実施の学校自己評価について説明。
- ・日常的な自己点検・自己評価の仕組み（個人内評価を重視し他者比較でなく、個々の成長を見る）

○小島指導主事のコメント

- ・数値に頼らない評価の必要性に同意。

2. 熟議

【佐藤会長】

よろしく願います。今から、今年度の教育課程と学園としての学びの方向性について、濱尾先生の説明を受けながら進めてまいります。

○地域の伴走者の意義について【主幹教諭 濱尾】

私は、大島に来て今年で4年目になります。その中で、大島学園の子どもたちの学びを支えてくださるために、本当にたくさんの方々がかうして集まってくださっています。子どもたちの学びをより豊かに、そして発展させていくためには、私たち学校職員だけでは限界があります。だからこそ、地域の皆さんのアイデアや視点を、計画段階から積極的に取り入れたいと考えています。このように、今ここにきてくださっている皆さんのことを、私たちは“チーム大島の伴走者”と呼びしています。そして、私たちにとってとても大きな支えになっている存在です。私たち教職員だけでは到底思いつかないような、ダイナミックで魅力的な教育活動が、皆さんのお力で実現できると思っています。今日は、皆さんからたくさんのご意見やアイデアをいただきたいと思っています。詳しい内容については、後ほど郡の方から説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○昨年度の実践と今年度の取組【教諭 郡】

失礼します。私から、大島学園における“ふるさと愛学習”について、昨年度の実践と今年度の取組、そして今後の方向性についてお話しさせていただきます。昨年度から一緒に取り組んでくださった地域の方も多くいらっしゃると思います。そして、今年度から新しく“チーム大島の伴走者”として加わってくださった皆

さまもいらっしゃるので、まずは昨年度の活動を簡単に振り返っていただくために、実践の様子をまとめた動画をご覧くださいと思います。」

(→ 昨年度の学習実践ビデオを上映)

ビデオでもご覧いただいたとおり、昨年度は学年ごとに地域の特色をテーマとして学びを進めました。以下のような構成でした。

1・2年生は『大島の海』をテーマに活動しました。

3・4年生は『大島の塩』について学びました。

5～7年生は『大島の甘夏』をテーマにして取り組みました。

8・9年生は『大島の高齢者』について深く考える学びを進めました。

今年度も、このテーマ構成は変えず、昨年の内容をさらに深めていく方向で取り組んでいきたいと考えています。今年度も、昨年度と同様の学年ごとのテーマで取り組んでいきますが、内容はさらにパワーアップさせたいと考えています。そこで、地域の皆さん、“チーム大島の伴走者”の皆さまのお力をぜひお借りしたく、本日はお集まりいただきました。このあと行う熟議の時間には、伴走者の皆さんにぜひ一緒に考えていただきたい点があります。たとえば、子どもたちが大島の特産品を使って商品開発をしていくようなプロジェクトを想定した場合に、次のような観点でアイデアやアドバイスをいただけたらと思っています。

- ・子どもたちと一緒に、こんな商品を作ってみてはどうか？
- ・どんなPR（広報）方法が効果的か？
- ・展示・販売イベントを開くなら、どこが適しているか？
- ・協力してくれそうな団体や施設はあるか？
- ・活用できそうな素材・材料はあるか？

このように、具体的で実現可能なアドバイスをいただけると、とてもありがたいです。」ではこれから、各グループに分かれて話し合いをしていただきます。地域の伴走者の皆さんには、“オブザーバー”という立場でグループの中に入っていただき、ぜひ積極的にご意見を出していただければと思います。話し合った内容は、最後にグループごとに発表して共有していただく予定ですので、よろしくお願いいたします。

【佐藤会長】

はい、ありがとうございます。それでは、今の提案をもとに、各グループで話し合いを進めていただければと思います。今回の主役は地域の皆さんです。学校の先生方ではなく、地域の方々にぜひ力を発揮していただく場にしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

○熟議後意見交流【佐藤会長】

それでは、各グループで話し合っていたいただいた内容を共有していただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【オブザーバー①浜辺ラボの平川さん】

2年前から大島学園の活動に関わっています。今日初参加でドキドキしていますが、発表させてもらいます。本田さんに頼まれて見守り隊を続けてます。最初は警戒されてたけど、今では子どもたちが自然に挨拶してくれて、変化を感じます。毎日が楽しいですし、先生とのハイタッチも嬉しいです。米グループでは、子どもと一緒に郷土料理を作りたいと話しました。ワカメや柿など少しずつできるようになってきたので、1年生と一緒に挑戦したいです。踊りや漁業の行事にも子どもが少し関わったら。昔やっていたことも、またみんなできたらいいですね。天狗様の行事や山・鳥のことも、安全な範囲で関わりたいです。ツボ貝やバベの葉のことも記録してるので、伝えていけたらと思っています。

【オブザーバー②大島村商店の林田さん】

大島村商店の林田です。今年20周年を迎え、記念にホームページを作りました。子どもたちと大島の魅力をまとめて発信したいです。あと、大島の飴を作る人がいなかったの、私が子どもたちと一緒に商品開発を始めたいと思います。

【オブザーバー③宗像経済新聞の原さん】

宗像経済新聞の原です。島のPRに関して、予算削減の中でも甘夏を題材にした投稿などで発信を強化しています。イベントも企画していて、離島フェアなどでブースを出せればと考えています。子どもたちがPR方法を学び、自分たちで情報発信できるようサポートしたいです。

【福祉協議会の福崎さん】

福祉協議会の福崎です。高齢者支援に取り組んでおり、子どもたちが課題を見つけて個人目標を持って活動しています。認知症サポーター講座や地域の協力も得ながら、高齢者のために何ができるか模索中です。既存のイベントの活用や、大学生の協力も考えています。

【PTA会長の佐藤淳也さん】

PTAの佐藤淳也です。今年で自主学習は4年目になります。今回は大島の伝統文化をテーマに、全学年で取り組む予定です。まだ具体的に詰めていませんが、夏休み頃には話をまとめ、子どもたちが発表できる形にしていきたいと思います。

【福岡教育大学教職大学院の坂井教授】

皆さん、お疲れ様でした。熱い議論でとても刺激を受けました。阿部校長先生がおっしゃったように、楽しく活発に話し合いながら学校教育に関わる姿が素晴らしいと感じました。評価については「量」と「質」があります。アンケートなどの量的評価は全体の傾向を把握するもので、数値に一喜一憂せず、質的な部分を大切にしてください。挨拶運動など積極的に参加している子どもたちも多く、肌感覚で感じたことを共有する場が重要です。学びのデザインは大島学園の柱です。昔のように先生から教わって覚えるだけでなく、子どもたち自身が主体的に学ぶ時代です。地域の協力を得て、答えのない問いに向き合う「深い学び」を推進しています。皆さんの今日の話し合いは、まさに子どもたちの深い学びのために自分たちができることを真剣に考える姿でした。児島地域の協力は大島学園の大きな財産であり、他校のモデルになっています。議論がすぐ教育に反映されるのも特徴です。最後に、先生方には教科の知識が「大島ふるさと愛学習」と結びつくよう、意識して授業を進めてほしいと思います。今日は暑い中ありがとうございました。次回や運動会も楽しみにしております。

3. 閉会行事

【山崎教頭】

それでは閉会行事に移ります。宗像市教育委員会指導主事の小島様、お願いいたします。

【小島指導主事】(宗像市教育委員会)

こんにちは。宗像市教育委員会の小島です。大島に憧れています。今日はありがとうございました。初めて参加の方もいるので、小中一貫コミュニティスクールと運営協議会の意味について簡単に説明します。「誰が子どもを育てるのか」ということです。学校だけでなく地域や家庭も含めてみんなで育てることが基本理念です。大島学園のスローガン「大島を愛し、自分で考え、責任を持って行動する子ども」に向け、地域も主体的に動くことが大切です。運営協議会は地域の方が提案・意見を出し合う場であり、子どもたちも「私たちの目標はユイです」と主体的に参加しています。評価のポイントは「当事者意識」です。目標の達成度を学校・家庭・地域が共に振り返ることがコミュニティスクールの評価の本質と考えています。今後も学び続け、必要に応じて訂正します。
以上です。

【山崎教頭】

ありがとうございました。次回は8月25日(月)に第3回学園運営協議会を開催します。5年生以上の児童生徒も参加予定です。内容は決まり次第連絡します。終了後は委員会および本部役員会を行います。以上をもちまして、第2回大島学園学園運営協議会を終了します。ありがとうございました。お疲れ様でした。